

しつがいにこつこせつ

膝蓋骨骨折

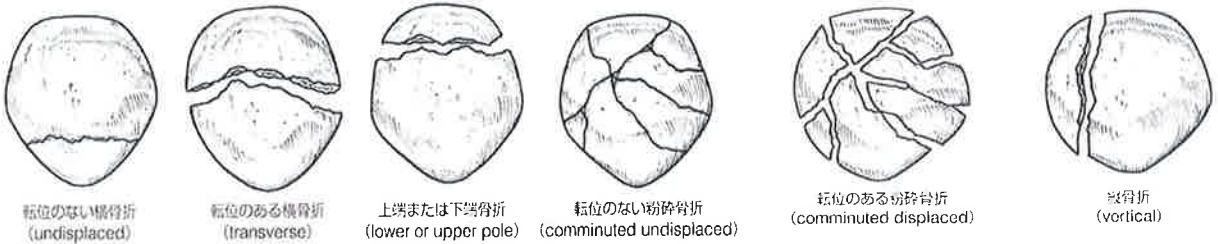


<膝蓋骨って？>

膝蓋骨とは「膝関節に蓋をしている骨」で膝関節の保護や円滑な屈伸動作、膝を伸ばす筋肉の伝達など非常に重要な役割を担っています。いわゆる「お皿」と呼ばれる骨です。

<膝蓋骨骨折とは・・・>

転倒した際などに膝蓋骨を直接打った時1番多く骨折します。骨折のタイプも様々で中には手術となるタイプもあります。最初のレントゲンでは骨折がはっきりしないものもあり、治療を間違えると正座が出来ないなどのADL障害が出てくる事もありますのでしっかり見極めて治療していきましょう。



<症状>

関節の中の骨折なので関節に血が溜まり腫れる、痛くて歩けない・膝の曲げ伸ばしが出来ないなどです。

<治療>

保存療法:骨折部分が大きく離れていなく、骨折線が単純なものが適応となります。

治療は骨折部分が離れてしまわないように太ももの真ん中辺りから足首の上まで膝を軽く曲げた姿勢でギプス固定を3~4週間行います。ギプスが外れたら筋力強化や膝の曲げ伸ばしの訓練をしていきます。

手術治療:骨折部分が大きく離れているもの、粉碎骨折などが適応となります。

治療は離れた骨折部分をつなぎ合わせる手術が主流です。



← ギプス固定の1例

固定中でも強く踏ん張ったり、転倒してしまうと骨折がひどくなることもあります。十分気を付けてください。